

「九台市での植林」写真展を開催



9月24日から1週間、町役場1階で「吉林省緑化事業」写真展を開催(写真上)。今回は4月に実施した九台市上河湾地区での障子松の植樹の様やハルビン、長春での交流に加え、8月の調査植林の写真(写真下)も展示。多くの町民に協会の活動の一端を紹介し「地道なボランティア活動を知ることができました」「みんな仲良くしていきたいです」等、好評をいただきました。展示作業に携わった皆さん、ご協力ありがとうございました。

若生・富谷町長に『要望書』を提出 (9月19日)

3年後の市制移行を視野に富谷町と吉林省九台市との交流を行政としても推進・応援していただきたい旨の要望書(水戸会長、松田副会長、紹介・渡辺俊一議員、安住稔幸議員)を提出。若生町長からは交流推進に尽力したい、と応えていただきました。



12日! しんまち公園で

「十三夜 魂のふるさとまつり」

富谷町主催の「十三夜魂のふるさとまつり」が十二日(土)十時から二十一時まで、「しんまち公園」をメイン会場に開催されます。富谷日中も例年通り、肉まん・あんまん、ちまき、ハンバーガーを販売いたします。町としてはイベント広場での催し物、多くの屋台の出店などで終日、賑わいます(雨天決行)。ご家族、ご友人とお楽しみ下さい。なお当会出店へのお手伝い応援もよろしく願います。

※「富ヶ丘公民館まつり」は11月16日恒例の「富ヶ丘公民館まつり」に中国語講座として「中国語茶コーナー」を提供します。午前中まで。応援よろしく願います。



「大巾さんから戦争体験を聞く会」開く

9月7日、県青年委員会では、仙台市内の「長城」で、大巾博幸さん(85)を招いて「戦争体験を聞く会」を行った。「15歳で満蒙開拓青少年義勇隊に入隊。戦後も民主連軍の兵として中国国内を転戦。朝鮮戦争も後援部隊として戦い、26歳で無事帰国できた」。また戦争の凄惨な状況や現代史の一面等も語りながら「戦争は絶対にあってはならない」と訴えた。富谷からも中村さんや佐藤さん等が参加。終了後は懇親会ももたれ、質問など話が弾んだ。



友好川柳

「流行語 本命決まった おもてなし」
「ブレゼンで “なでしこ力” がものを言い」
「7年後も平和の祭典に。平和は女性力が源」
「長崎で 平和悲願(彼岸)の中日に」
「(西国ボランティアが中国人墓地を清掃) 9・18 反日デモなく 一安心」
「(あとは日中韓の首脳会談か)」
「(見を救う 留学生に 壁はない)」
「(淀川の氾濫で 厳俊君がニュースに)」
(柳川どじょう)

ひろば「広場」

☆募集☆
毎月25日
が投稿の締め切りです。
内容は自由です。

話題&情報

行事「魯迅先生逝去77周年碑前献花式と留学生との交流会」

恒例の碑前献花式を魯迅先生命日の10月19日(土)午後3時から、仙台市博物館隣の記念碑前。参加はどなたでも自由。終了後、希望者と留学生との交流会を国際センター内「ラ・フォーレ」で行います。会費1500円。10月10日までに水戸までお申し込み下さい。なお当日、お菓子の差し入れなど歓迎いたします。

読書「中華人民共和国史(新版)」(天児 慧著 岩波新書 861円)

旧版(1999年)以降の習体制発足までを含めた中国近現代史である。通史を通しながら今後の中国の動向も探っている。著者は言う。「離れたくても離れられない複雑に絡み合った隣人」とは「決めつけ・思い入れ」に先走らず「客観的に中国理解を深める努力が大切」と強調。側に置いておくこと、お勧めの一冊。